

第 4 期

# 営 業 報 告 書

自 平成 1 6 年 4 月 1 日

至 平成 1 7 年 3 月 3 1 日

青い森鉄道株式会社

## 第4期営業報告書

〔 自 平成16年4月1日  
至 平成17年3月31日 〕

### 1. 営業の概況

#### (1) 営業の経過及び成果

当期における我が国経済は、好調な中国経済等に牽引され、輸出、生産及び設備投資が好調を維持している等、景気が穏やかな好調を維持しております。

一方、県内経済は、緩やかなテンポの回復基調も、最近では、生産動向、個人消費等が伸び悩んでいることから、全体としては足踏み感が広がっております。

第三セクター鉄道等の地方鉄道事業者は、一層進む道路整備にあわせての自動車の普及と少子高齢化等による鉄道利用者減少の影響を受け、厳しい経営を余儀なくされている状況にあります。

当社では第三種鉄道事業者である県と綿密な連携を保ち、鉄道経営の基本である安全性の確保を最優先として旅客輸送を行ってきたところであります。また、ステーション・アテンダント及び駅サポーターの配置は言うに及ばず、沿線所在の高等学校への定期券出張販売を継続実施する等、自社線の旅客収入の確保に努めるとともに寝台特急列車等を取り入れている東日本旅客鉄道株式会社や北海道旅客鉄道株式会社等に対し、寝台特急・団体列車の増発や旅行企画商品の開発を依頼する等の営業活動を継続し、更に、車内広告の獲得のための営業活動等、増客及び増収の営業努力をおこなってまいりました。

このようなことから、当期の売上高は430,214千円、営業費は411,368千円となり、営業利益は18,846千円、経常利益は4,762千円、当期純利益は0円となります。

なお、営業費において、第三種鉄道事業者である青森県による線路使用料の減免措置(279,183千円)により収支均衡が図られております。

#### (2) 対処すべき課題

##### 沿線市町村及び住民との連携

当社は開業以来、地域の重要な足として、地域に愛される鉄道となるため、利用者へのサービスの向上に努めてまいりました。しかしながら、営業距離が短く、利用客が通学客である等、利用客の増加につながる活性化策を見いだせない状況となっております。

今後は、沿線市町村、地域支援組織（ボランティア団体、老人クラブ、町内会、沿線学校等）との連携を深めるとともに、青い森鉄道利用促進協議会の支援を頂いて、利用促進を図っていく所存であります。

#### (3) 資金調達の状況

当期中の新たな資金調達はありません。

#### (4) 設備投資の状況

(単位：千円、税抜)

	品名	数量	金額	購入先
1	制輪子・ブレーキインク	1	849	I G Rいわて銀河鉄道(株)
2	新札対応(車両装備両替機)	4	720	レシップ(株)
3	新札対応(自動券売機)	6	1,765	ジエール東日本メカトロクス(株)

#### (5) 営業成績及び財産の状況の推移

区分	平成14年度 (第2期)	平成15年度 (第3期)	平成16年度 (第4期)(当期)
売上高	137,758千円	443,546千円	430,214千円
経常利益	61,251千円	322千円	4,762千円
当期純利益	61,573千円	0千円	0千円
1株当たり当期純利益	5,131.08円	0円	0円
総資産	593,860千円	589,797千円	597,100千円

## 2. 会社の概況

### (1) 主要な事業内容

当期の当社の事業は、旅客鉄道事業及びこれに付随する事業です。

旅客鉄道事業の営業キロは、目時・八戸間 25.9 km、駅数は7駅です。

車両は701系電車を4両(2ユニット)保有しています。また、盛岡・八戸間でI G Rいわて銀河鉄道(株)と共同運行を行い、快速8本を含む40本の列車本数で運行しています。

### (2) 主要な営業所

本社 青森県八戸市大字長苗代字上亀子谷地9番地

駅 八戸駅( J R 東日本旅客鉄道株式会社との共同使用駅)、北高岩駅【八戸市】

苫米地駅【福地村】

剣吉駅【名川町】

諏訪ノ平駅、三戸駅【南部町】

目時駅【三戸町】

\* 北高岩、苫米地、剣吉、諏訪ノ平、三戸及び目時駅の6駅施設は青森県が所有しています。

八戸駅にはステーション・アテンダントを配置し、乗車案内、自動券売機使用の助言等を行っております。

高校生等の利用が多い剣吉駅及び三戸駅には、委託社員各1名を配置し、乗車券の発売等を委託して営業しております。(委託先は名川町及び南部町です。)

北高岩駅、諏訪ノ平駅及び目時駅には、駅サポーターを配置し、自動券売機の利用案内、冬期間の暖房提供等の業務を行っております。

## (3) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	12,000株
普通株式	11,000株
優先株式	1,000株
株主数	19名
株主の状況	

(単位：株、%)

		出 資 者	持 株 数	議 決 権 比 率
普 通 株 式	青 森 県 普 市	青 森 市	6,600	55.00
		八 戸 市	540	4.50
		三 沢 市	1,406	11.72
		平 内 町	64	0.53
		野 辺 地 町	44	0.37
		六 戸 町	36	0.30
		東 北 町	18	0.15
		下 田 町	50	0.42
		七 戸 町	38	0.32
		三 戸 町	10	0.08
		名 川 町	72	0.60
		南 部 町	42	0.35
		福 地 村	44	0.37
	小 計	36	0.30	
	民 間 企 業	株 式 会 社 青 森 銀 行	2,400	20.00
		株 式 会 社 み ち の く 銀 行	600	5.00
		東 京 電 力 株 式 会 社	600	5.00
		東 北 電 力 株 式 会 社	400	3.33
		小 計	400	3.33
優 先 株 式	民 間 企 業	東 京 中 小 企 業 投 資 育 成 株 式 会 社	1,000	8.33
合 計			12,000	100.00

(注) 当社の上記株主への出資はありません。

## (4) 従業員の状況(平成17年3月31日現在)

区 分	人 員	平均年齢	平均勤続年数	摘 要
総 務 部	3名	32.3歳	2.4年	社 員 2名 臨時社員 1名
運 輸 部	21名	48.5歳	1.9年	社 員 2名 契約社員 2名 嘱託社員 3名 JR 東日本旅客鉄道(株)からの出向社員 14名
計	24名	46.5歳	2.0年	

(注) 上記のほか駅サポーターをパート社員として下記のとおり採用しております。  
北高岩駅：2名(交代で勤務) 諏訪ノ平駅：1名、目時駅：1名

(5) 取締役及び監査役の状況（平成17年3月31日現在）

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	主な職業
代表取締役社長	小枝昭	常勤	
取締役	中林紘一	常勤	当社総務部長
取締役	中村明義	非常勤	青森県企画政策部長
取締役	中村寿文	非常勤	八戸市長
取締役	鈴木重令	非常勤	三沢市長
取締役	久慈豊	非常勤	三戸町長
取締役	二本木憲一	非常勤	南部町長
取締役	逢坂雄一	非常勤	平内町長
取締役	西久男	非常勤	東京中小企業投資育成(株)業務第7部長
取締役相談役	佐藤正勝	非常勤	
監査役	下村平太郎	常勤	
監査役	工藤祐直	非常勤	名川町長
監査役	夏坂秀一	非常勤	福地村長

(注) 当期中の取締役及び監査役の異動は次のとおりです。

就任

平成16年6月30日開催の第3回定時株主総会において、新たに取締役に小枝昭氏、監査役に夏坂秀一氏がそれぞれ選任され就任しました。

同日開催の取締役会において、小枝昭氏が代表取締役社長に佐藤正勝氏が取締役相談役に選任され、それぞれ就任しました。

辞任

佐藤立治氏は平成16年6月30日付で監査役を辞任しました。

中林紘一氏は平成17年3月31日付で取締役を辞任しました。

退任

佐々木啓二氏は平成16年6月30日開催の定時株主総会終結の時をもって、任期満了により取締役を退任しました。

取締役のうち中村明義氏、中村寿文氏、鈴木重令氏、久慈豊氏、二本木憲一氏、逢坂雄一氏、西久男氏は商法188条第2項7号ノ2に定める社外取締役であります。

監査役のうち工藤祐直氏、夏坂秀一氏は商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

注：本営業報告書中記載の数字の金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	( 285,294 )	流動負債	( 73,038 )
現金・預金	219,385	未払金	53,890
未収運賃	39,390	未払法人税等	2,003
未収金	22,294	未払消費税等	9,140
未収還付税金	8	預り連絡運賃	4,825
貯蔵品	3,880	預り金	471
前払費用	335	前受運賃	1,774
固定資産	( 284,598 )	賞与引当金	932
鉄道事業固定資産	284,598	固定負債	( 921 )
繰延資産	( 27,207 )	退職給付引当金	921
創立費	1,091	負債合計	73,960
開業費	26,115	(資本の部)	
		資本金	600,000
		利益剰余金	76,860
		当期未処理損失	76,860
		資本合計	523,139
資産合計	597,100	負債及び資本合計	597,100

損益計算書

自 平成16年4月1日  
至 平成17年3月31日

(単位:千円)

科 目	金	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
鉄道事業		
営業収益	430,214	
営業費	411,368	
営業利益		18,846
全事業営業利益		18,846
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	41	
雑収入	32	73
営業外費用		
創立費償却	1,091	
開業費償却	13,057	
雑支出	8	14,158
経常利益		4,762
特別損益の部		
特別損失		
役員退職慰労金	4,440	4,440
税引前当期純利益		322
法人税、住民税及び事業税		322
当期純利益		0
前期繰越損失		76,860
当期末処理損失		76,860

## 貸借対照表及び損益計算書についての注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
貯蔵品...最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
運搬具を除く工具器具備品...定率法  
その他の有形固定資産...定額法  
無形固定資産  
ソフトウェア...定額法
- (3) 繰延資産の処理方法  
創立費...5年間で每期均等額を償却しております。  
開業費...開業後5年間で每期均等額を償却しております。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金.....従業員の賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。  
退職給付引当金....従業員の退職給付に備えるため、自己都合による期末退職給与要支給額の100%を計上しております。
- (5) リース取引の処理  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (6) 消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。

### 2. 貸借対照表関係

- (1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 支配株主に対する金銭債権債務は、次のとおりであります。  
短期金銭債務 3,829千円
- (3) 有形固定資産の減価償却累計額 77,694千円
- (4) 鉄道事業固定資産  
有形固定資産 281,121千円  
    建物 2,001千円  
    車両 269,062千円  
    工具器具備品 10,057千円  
無形固定資産 3,477千円
- (5) 商法施行規則第92条に規定する金額 76,860千円
- (6) 商法施行規則第93条に規定する金額 26,115千円

### 3. 損益計算書関係

- (1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 支配株主との取引高 営業費 27,236千円
- (3) 営業費 運送営業費 327,468千円  
一般管理費 47,888千円  
諸税 3,892千円  
減価償却費 32,118千円  
計 411,368千円
- (4) 1株当り当期純利益 0円0銭



## 損 失 処 理 案

(単位:円)

科 目	金 額
当期末処理損失	76,860,209
これを次のとおり処理いたします。	
次期繰越損失	76,860,209